

シジミがよみがえった！

真光寺川を清流にする会
世話人 山口 拓郎

「シジミがいた」と言う情報が度々寄せられるようになった。7月の清掃日、石の上にシジミの殻が一列に並べられているのを黒田さんが発見した。カラスのいたずらだろうか。川底の砂をすくってみるとシジミが数個手に残った。シジミは澄んだ小川の砂地に棲息すると言われている。最近では農薬散布、護岸工事、水質汚染等で激減してしまったと報ぜられている。塩谷萌ちゃんがシジミを発見して大騒ぎとなったのは3年位前だったろうか。今、多くのシジミが棲息していることは紛れもない事実だ。そう言えば、最近川底の砂が透けてみえるようになってきた。水質が改善されたと言うサインだろうか。刻々の環境の変化に敏感に反応する精緻な自然の仕組みには畏敬の念すら覚えずにはいられない。

〔5月〕
5月2日(水) 鶴三小打ち合わせ
鶴三小は今年創立40周年を迎えるそうだ。記念行事の一環として「40年史」の編纂を計画されている。その参考資料として「清流の会」の資料を求められた。創立の頃は増加する児童にプレハブ校舎で対応、児童数も千数百人まで膨張したと言う。現在は三百名余りだそうだ。今昔の感に耐えない。

5月6日(土) 松井先生来訪
和光鶴小の松井先生が「HATSのつどい」の感想文集を届けて下さる。今年も4年生の担任になり真光寺川に取り組めるとうれしそうだった。

5月9日(水) 里親通信発行と一木会
山本、黒田、二田、桜井さんと2時から支所で印刷、仕分けして学校、病院等へ配る。鶴川ライオンズクラブのオフィスには協力要請のレターを添えて届ける。6時から魚民で一木会。「まつり」の日程、出し物等について話し合う。

5月13日(日) 清掃作業
数日前から風邪気味。ノドの疾患から飲食物を受け付けなくなり体重が落ちてきた。作業できる体調でない。とりあえず開戸親水に出かけ、皆さんにお断りし、残念ながら作業は休ましてもらおう。

5月14日(月) 松井先生来訪
今年の取り組みについてお話しがある。

5月17日(木) 水サンプル回収
雨模様。体調が万全でない。とても4ヶ所8kmは歩けそうもない。松前さんにお断りして「開戸親水」「下堰親水」の2ヶ所にし「せせらぎ緑道」と「元真光寺駐在所跡」は今回に限り省略させてもらおう。6時半にスタート8時前に帰宅、一息つく。

5月25日(金) シマドジョウ発見の報
「下堰にシマドジョウがいたよ！」神蔵さんから興奮した声で電話があった。シマドジョウは清流にしか棲息しないと言われている。俄に信じがたいが神蔵さんは土地の古者で川魚には滅法詳しい。さて真実は？

〔6月〕
6月3日(日) 全国水質調査
世界環境デーにちなんで河川管理財団が全国5千箇所余りで実施している。04年からエコネットとして12箇所で開催している。早朝、下川戸橋で調査する。終わって能ヶ谷神社の草刈り作業へ。

6月7日(木) 里親通信発行と一木会
山本、黒田、二田さんとセンターで作業。黒田さんが名簿を整理して下さった。夕方、魚民で一木会。「まつり」の出し物、担当、広報等について話し合う。

6月8日(金) 「夏休み子どもフェア」
申し込み
教育委員会で発行しているリーフレットへ「まつり」の掲載を申し込む。小学生、中学生を対象に3万部発行していると言う。

6月10日(日) 清掃作業日
夜明けに雨が降る。然し作業には支障はなかった。反省会で「まつり」のことを相談する。

6月11日(月) 「広報まちだ」へ申込み
市役所へ行き7月21日号「広報まちだ」に「まつり」掲載の手続きを取る。ボランティアセンターで「行事保険」のことを確かめる。余り適切ではなさそう。

6月13日(水) ライフジャケット貸出し
依頼
「子どもの水辺サポートセンター」は体験

学習の支援活動を行っている。和光鶴小からライフジャケット100着の貸し出し依頼がある。早速申し込んだが残念ながら先約があり実現しなかった。

6月21日(木) 水サンプル回収
快晴、暑くなりそうなので早朝に回収することにする。5時に家を出る。散歩の人達が声をかけてくれる。「委託されてやっているんですか?」「いいえ、自主的にやっているんです」「それはご苦労さん!」
8時前に帰宅、シャワーを浴びて爽快!

6月22日(金) 鶴三小・学校運営委員会
「創立40周年記念行事」のことなど。早速、行事参加費3千円を郵便局へ振り込む。

6月24日(日) 市民大学・体験講座
今年エコネットとしては滝ノ沢で実施。6時に下堰で2リットルのペットボトルに水を採集し持参する。受講生に「恩田川」「真光寺川」「境川」「滝ノ沢」の水質を比較してもらうためである。受講生15名。午後はエコネット推進連絡会議。

〔7月〕
7月1日(日) 「鳥の死骸」の通報
女性の方から下堰下流に鳥の死骸があると連絡があった。行って確かめる。自然の摂理に任せるしか仕方がなからうと考える。

7月6日(金) 里親通信発行、一木会
真夏日。2時からセンターで山本、黒田、二田さんと印刷する。チラシも。夕方、魚民で一木会。下堰の草刈り、スケジュール、役割分担等について話し合う。



「とれた!」和光鶴小・体験学習

7月8日(日) 清掃作業
六丁目の中野さんが新たに参加される。心強い。権現橋の下手で石の上に大ぶりのシジミが5個ほど並べられていた。黒田さんとカラスのいたずらかと話す。終わっていちよう会館で「まつり」の打ち合わせ。着々準備も進み気分が盛り上がってくる。

7月9日(月) サンケイリビング取材
昨年に引き続き告知記事を出してもらえとの連絡がある。担当の方は近くの平和台住宅にお住いとのこと。

7月17日(火) アサヒタウンズ取材
三和記者が取材に来訪。7月25日号に掲載して下さるとのこと。

7月19日(木) 水サンプル採集
早朝、家を出て採集に出かける。朝の空気が快い。オイカワだろうか魚が群れているのが見える。これまで水底に繁茂していたヘドロが消えきれいな砂が見えるようになってきた。

7月23日(月) 下堰の草刈り
下堰は「まつり」の主会場だ。特に人気の水鉄砲の標的を設置予定の洲の辺りは、一面背丈程の夏草に覆われている。どうにかしなくてはと課題になっていた。岩上さんが田島さんに折衝しエンジン付草刈り機のお出ましとなった。岩上、山本さんとなぎ倒された雑草の除去作業にかかる。3時間かけてようやく片づけることができた。

7月24日(火) 和光鶴小・体験学習
和光鶴小4年生は2クラス、70名である。体験学習のテーマとして松井先生のクラスは真光寺川研究を、大野先生のクラスは鶴見川研究を選択した。この日は4年生全員が開戸親水から下堰親水まで川の中を歩きたいと言う。応援を求められる。幸い快晴、午前10時に開戸親水へ。子ども達は大喜び。魚やザリガニを追い少々の深みは物ともせず歓声をあげながら進んで行く。矢崎橋の下に大ナマズの死骸を発見し大騒ぎとなる。アッと言う間の2時間だった。

7月25日(水) 鶴三小横山先生から連絡
「まつり」のオープニングで投網の実演をやらしてほしいとのこと。勿論、OK!

7月27日(金) 「まつり」準備
5時に下堰親水に集まる。ミニ水族館の水槽の点検、魚捕獲の仕掛け、横断幕のチェック等々準備に万全を期す。後は当日の好天を祈るばかりだ! (この項おわり)

「真光寺川まつり」を無事終えました！

—後日のための覚え書き

7月28日、真夏の太陽のもと「真光寺川まつり—2007」を無事終了することができました。今年で6回目になります。当日の様子は山本さんが『真光寺川 里親の会』通信に詳細を報じています。重複を避け舞台裏と言うか、感想を思いつくままに記しておきたいと思います。

1. 準備

昨年までは高橋さんに大きく依存していましたが、それだけに正直言って不安がありました。しかしそれも記憶に終わり残された会員で力を併せて成し遂げることができました。高橋さんも何処か雲の果てでニコニコと眺めていたことでしょう。

2. 告知

里親通信、広報まちだ、アサヒタウンズサンケイリピーニング、夏休みこどもフェア等に掲載をお願いし、ポスターも要所要所に貼りました。うまくいった方でしょうか。前々日頃から会場への道順を問い合わせる電話が引も切らずかかってきました。

3. 来場者

年々増えているようです。今年は300名を優に上廻ったでしょう。リピーターが多いのも心強く感じます。横浜や八王子、遠方の方も結構いました。角家先生が昨年に引き続き駆け付けて下さったことは励みになりました。

4. 会場

これまで会館も使用していました。今回は下堰親水と五条池周辺に集約しました。かえってよかったようです。特に五条池周辺は木々の枝作る木陰が快適で評判でした。

5. 横断幕

「まつり」の雰囲気盛り上げるのに欠かせないのが横断幕です。4枚ありますが毎年使っているのだからかなりくたびれてきま

した。そろそろ更新したいですが、さて、どなたに依頼したものでしょうか？

6. 投網の実演

オープニングの投網の実演はグッドアイディアでした。水飛沫と共に大きな歓声が上がりました。

7. 鶴三小

先生方が学校からテントと机を運んで下さいました。横山先生のクラスの子も達が手作りの草花の葉を机の上にずらりと並べました。子ども達は声を張り上げ会場の中を売り歩き、楽しそうでした。

8. 石渡副校長先生のスケッチ

ミニ水族館の側の木陰にどっかと腰を据え即席のスケッチに余念がありませんでした。スケッチを頂いた子ども達もうれしそうでした。

9. 和光鶴小

松井先生と4年生の子ども達。真光寺川の鳥や爬虫類を版画にしたカレンダーと一口箋の作品を販売しました。大量にお買いあげの方もいました。

10. めだかプレゼント

いつも人気です。今年も長い列ができました。「めだかのおばさん」池田さんは今年には育ちが悪く数が足りるか心配されていました。桜井、岩上さんが何処かの池で沢山捕獲してきました。池の所在は秘密だそうです。

11. セブンイレブンのご主人

会場にトイレがなく頭を痛めていました。近くのセブンイレブンへお願いしましたところ即座に快諾されました。「教育上もすばらしいことですね」とご主人はおっしゃいました。

12. お手玉作りのお手伝い

前日、準備していたところ一人のお年寄りが話しかけてこられました。「まつり」の当日、その方はお手玉作りを楽しそうに手伝っていました。

13. コスモスの苗

一丁目のSさんは私共の活動の良き理解者です。会場で鶴三小の子ども達から大量のコスモスの苗をお買上げになりました。Sさんのお宅の庭はコスモスの花が一杯咲き乱れていることでしょう。

14. 勇壮な桶太鼓

和光鶴小の父兄の桶太鼓は「まつり」の華です。その音が川面にこだますると「今年も夏がきた!」と実感します。(山口記)

